

「わたしと生協」

私は55歳の時に、突然小麦アレルギーを発症し、アナフィラキシーショックで病院に運ばれました。病院の処置で回復しましたが、それからは毎日の食事が大変でした。

麺類、パン、てんぷら、フライなど食べられないものが多く、加工食品も小麦が含まれているものがほとんどで、いろいろなお店を回ってもなかなか食材を集められずに困りました。

食品のアレルギー表示をいちいち見ながらの買い物はとても時間がかかり疲れました。要領もつかめず、慣れない食材探しに毎日落ち込みました。

そんな時、生協で共同購入をしていた友人が「ふぁみ〜ゆ」のカタログにアレルギー対応食品がいろいろのっていると教えてくれました。早速、生協に電話をして、カタログを持ってきてもらいました。すると、米粉のパンや小麦未使用のお菓子や麺などがのっていて、本当にうれしかったです。

今まで店でいちいちアレルギー表示を見て買っていたのが、家においてカタログに書かれているアレルギー表示をみての注文はとても楽でした。「ふぁみ〜ゆ」以外のカタログにも小麦未使用の食品がのっていて、玄米パン、米粉フレーク、玄米マカロニなどを注文し、狭まっていた食生活もだんだん広がってきています。生協のカタログが届くと、小麦未使用の食品をみつけるのが楽しみです。食材をいろいろ工夫して、料理のレパートリーを増やしています。

大人になってからの食物アレルギーは治らないらしく、これからも生協の食材のお世話になると思います。
末永くよろしく願います。